

## 会議録（要旨）

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 事

#### （1）八潮市多文化共生推進プラン（案）に対するご意見と市の対応（案）について

##### ◆八潮市多文化共生推進プラン（案）に対するご意見と市の対応（案）

##### <事務局から説明>

資料に基づき説明。

##### <委員からの意見、質問>

【質問】プランの取組や事業について、進捗は誰がどのように管理し、市民はその進捗具合を知ることができるのか。

→（事務局より）取組や事業について、担当課が複数にまたがることから、庁内で連携して実施することを心がける。プランの進行管理にあたっては、毎年度評価を行う予定である。公表の仕方は未定だが、PDCA サイクルを活用しながら管理し、多くの人の目に触れるようにしたいと考えている。

【意見】意見番号 1でも指摘があるが、プランの表記の仕方が外国人にとっては全体的に難しいのではないかと感じた。例えば、表紙にある「国籍や民族などの異なる市民が…」の文言であれば、「八潮市のすべての人がわかりあい、大切に思いあい、助けあいましょう。」など簡単な表現が望ましいと思った。プランの中身を見ても、外国人にはわかりにくいため、外国人が理解しやすいバージョンも作成されるとよいのではないか。

→（事務局より）概要版の方が多くの方の目に触れる機会が多いため、分かりやすく、且つ多言語で作成することについて、岡村委員長からも事前にご提案頂いており、事務局としても検討している。また、プラン全体の表現が固く、外国人には馴染みがない表現もあることから、多言語での概要版作成を検討して参りたい。

#### （2）八潮市多文化共生推進プラン（案）について

##### ◆八潮市多文化共生推進プラン（案）

##### ◆八潮市多文化共生推進プラン表紙（案）

##### ◆八潮市多文化共生推進プラン概要版（案）

##### ◆八潮市多文化共生推進プランについて（答申）（案）

##### <事務局から説明>

資料に基づき説明。

<委員からの意見、質問>

【意見】 P40 1-(2)-3 「多文化共生を推進するキーパーソンの養成」を「多文化共生及び母語保持を推進するキーパーソンの養成」としてはいかがか。すべての教育現場に外国人の母語教員を配置するのは難しい状況だとお見受けしたが、母語保持を取組の一つに明記することで、八潮市が先駆的な取組みをしようとしているという意思表示にもなるのではないか。

【意見】 P79 用語解説「やさしい日本語」の2行目に「外国人にも分かりやすく」とあるが、最近の考え方では、外国人だけではなく、一般市民にもわかりやすいものという考え方が主流となっているため、表記については再度検討してほしい。

【意見】 P41 2-(1)-9 「就学にかかる資料の多言語化」とあるが、就学後の資料の多言語化も図っていただきたい。

→（事務局より）担当課においても各種通知の多言語版作成について努力していきたいと聞いている。市民協働推進課で募集登録している多言語サポーターの皆様のご協力も頂きながら、多言語化を進めたいと考えている。また、P41 2-(1)-5 「情報提供ガイドラインの策定」も実施予定であるため、活用して参りたい。

【意見】 市の保育士に、外国人の保護者に情報を伝える方法がないため、現場で大変苦勞されているという話をうかがった。そのため、やさしい日本語・ベトナム語・中国語などで作成された手続書類を市で用意できるとよい。保育園や学校からの通知は、市で共通フォーマットを作成し、どこでもそれを使えるようにすればお互いにとって良いと思う。他の自治体や埼玉県でも作成されている様式があると思うため、参考にして一定の様式を作成して頂きたい。

【質問】 P45 2-(2)-8 「海外への中学生派遣」という事業があるが、この対象となるのはどのような子ども達か。また、参加は有償か。

→（委員より）各学校 100 人に 1 人程度の割合で募集をしており、学校ごとに面談により派遣される生徒が決定する。費用は 4 万円程度で、オーストラリアに 10 日間ほどホームステイしている。毎年 10～15 人程度が派遣されているようである。

【意見】 P51 「プランの周知と進行管理」について、当初は担当が熱意をもってプランを策定しても、モチベーションを維持して取り組んでいけるのが課題である。担当者が異動しても取組を継続していけるような体制をつくることが重要である。

→（事務局より）ご意見を真摯に受け止めたい。多文化共生については以前から本市の懸案事項であった。多文化共生に関するプランを策定するのは初めてであるため、庁内で連携して着実な実施に向けて一つずつ取り組んで参りたい。

【意見】 概要版をやさしい日本語や多言語で作成するのはいいと思う。もっと詳しい情報を手に入れたいときに、自分で情報にアクセスできるよう、QRコードなどが入っているとよい。そうすれば紙メディアであっても有効活用できるのではないか。

→（事務局より）QRコードは活用していきたいと考えている。また、市ホームページにもプランを掲載し、多くの皆様の目に触れるようにしたい。

#### 〈結 果〉

いただいた意見をもとに内容を一部修正し、八潮市多文化共生推進プランの最終案とする。

#### 4 その他

##### （1）今後のスケジュールについて

- ・答申について事務局より説明。答申書に、最終案として承認頂いた八潮市多文化共生推進プラン（案）を添え、2月19日に岡村委員長、昼間副委員長より市長に答申する。

#### 5 閉 会

以 上